

2018年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2017年8月3日

海外売上の二桁伸長が牽引し大幅な増収増益を達成

(億円)

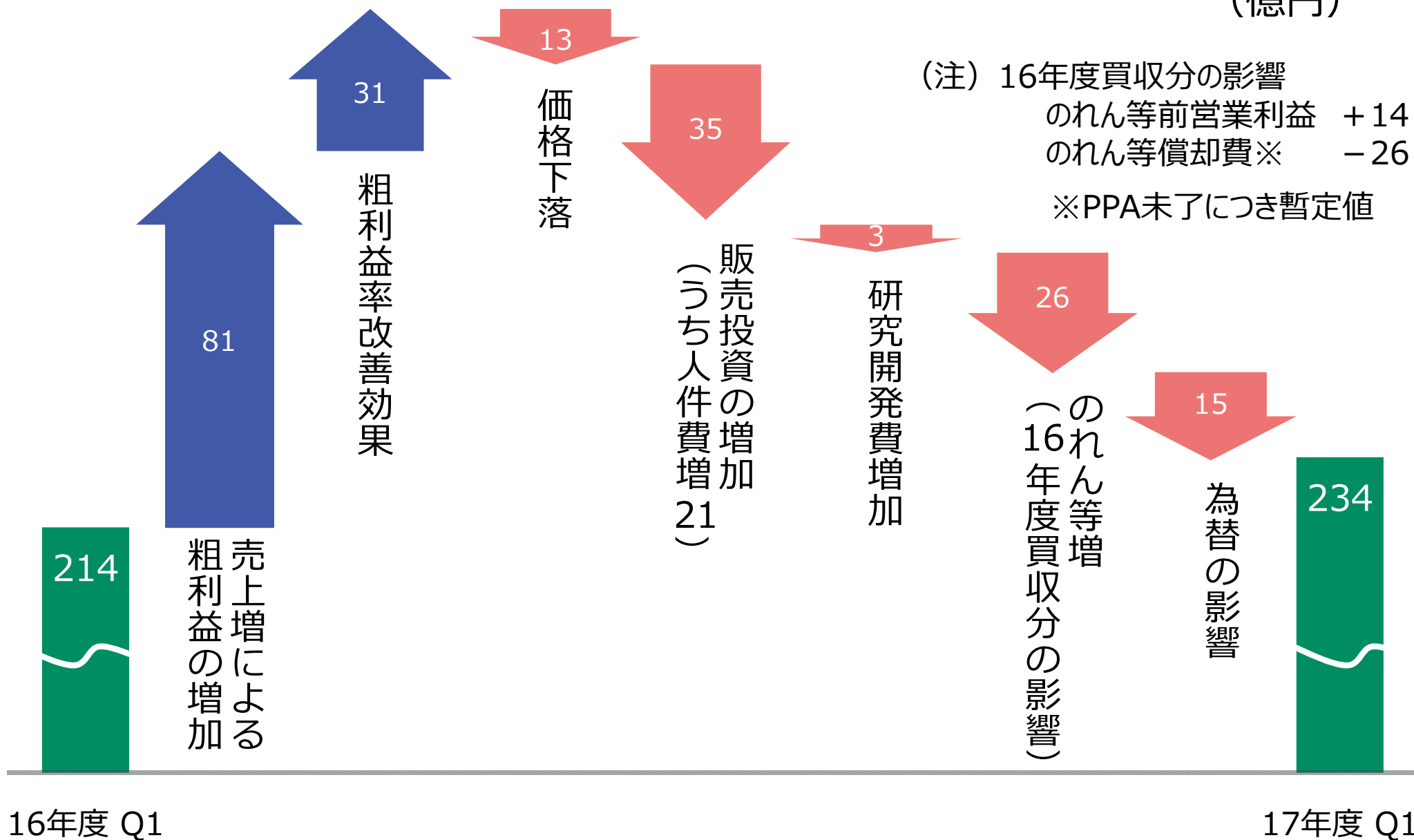
	16年度Q1	17年度Q1	増減率	為替除く 増減率
売上高	1,245	1,393	+12%	+11%
粗利益	692 (55.6%)	783 (56.2%)	+13%	+15%
一般管理費	397 (31.9%)	464 (33.3%)	+17%	+15%
研究開発費	81 (6.5%)	85 (6.1%)	+5%	+4%
営業利益	214 (17.2%)	234 (16.8%)	+9%	+17%
(のれん等償却除く)	259 (20.8%)	306 (22.0%)	+18%	+24%
経常利益	151 (12.1%)	227 (16.3%)	+50%	
純利益	101 (8.1%)	163 (11.7%)	+61%	

期中平均レート	USD	108円	111円
	EUR	122円	122円

- 売上高 : 心臓血管の全事業が二桁伸長し全体を牽引
- 営業利益 : 大幅な売上増に加え、粗利益率が改善
- 経常利益 : 前年同期の為替差損 (55億) に対し、今年度は差益 (2億)
- 純利益 : 内外子会社の税効果適用範囲拡大による法人税負担率の減

営業利益増減分析

(億円)

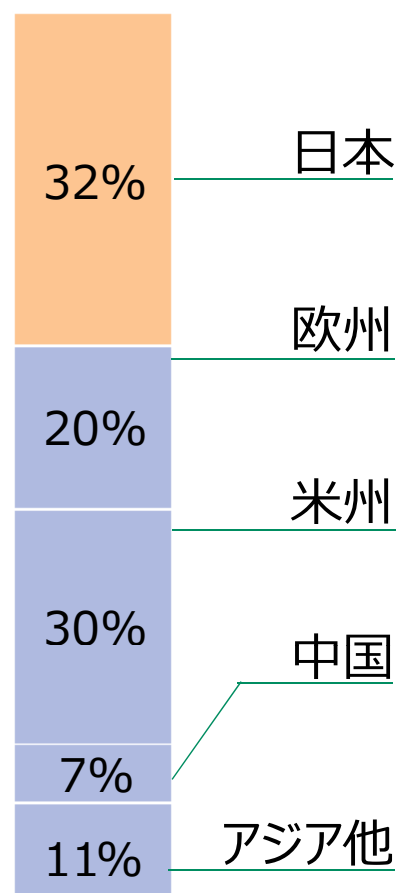


地域別売上高

■ 17年度Q1
■ 16年度Q1

売上高

100% = 1,393億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

() 内は為替影響除く

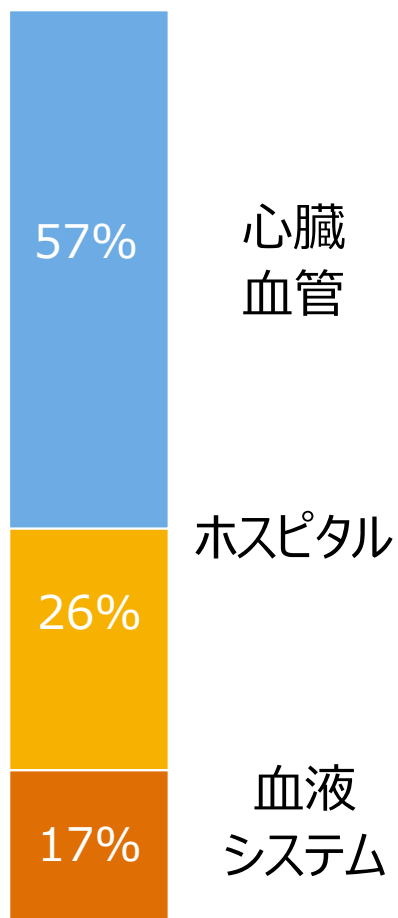
日本	449 455	-1%	ホスピタルのマイナス伸長を心臓血管でカバーするもトータルで微減
欧州	277 247	+12% (+12%)	心臓血管の全事業で二桁伸長し、全体を牽引
米州	411 329	+25% (+21%)	血液システムが回復基調に戻ったことに加え、心臓血管の全事業が大幅伸長
中国	102 84	+22% (+23%)	全てのカンパニーで二桁伸長
アジア他	153 130	+18% (+15%)	心臓血管の全事業と血液システムが二桁伸長

カンパニー別売上高

■ 17年度Q1
■ 16年度Q1

売上高

100% = 1,393億円



売上額前年比較

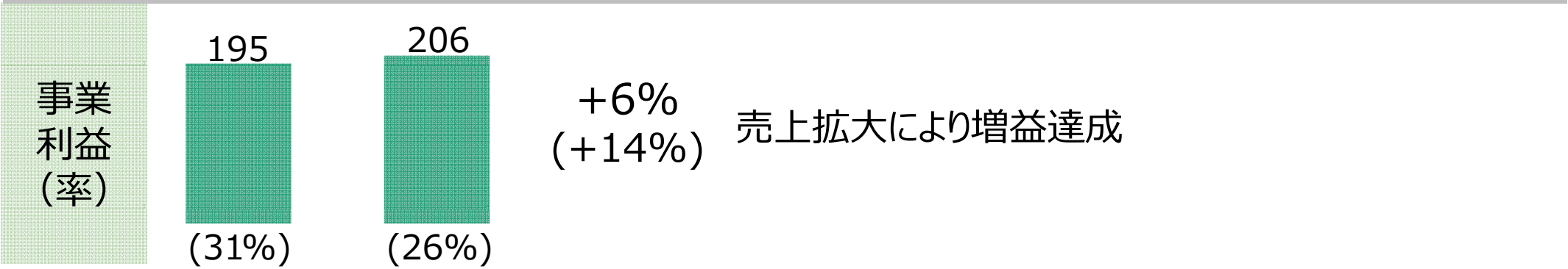
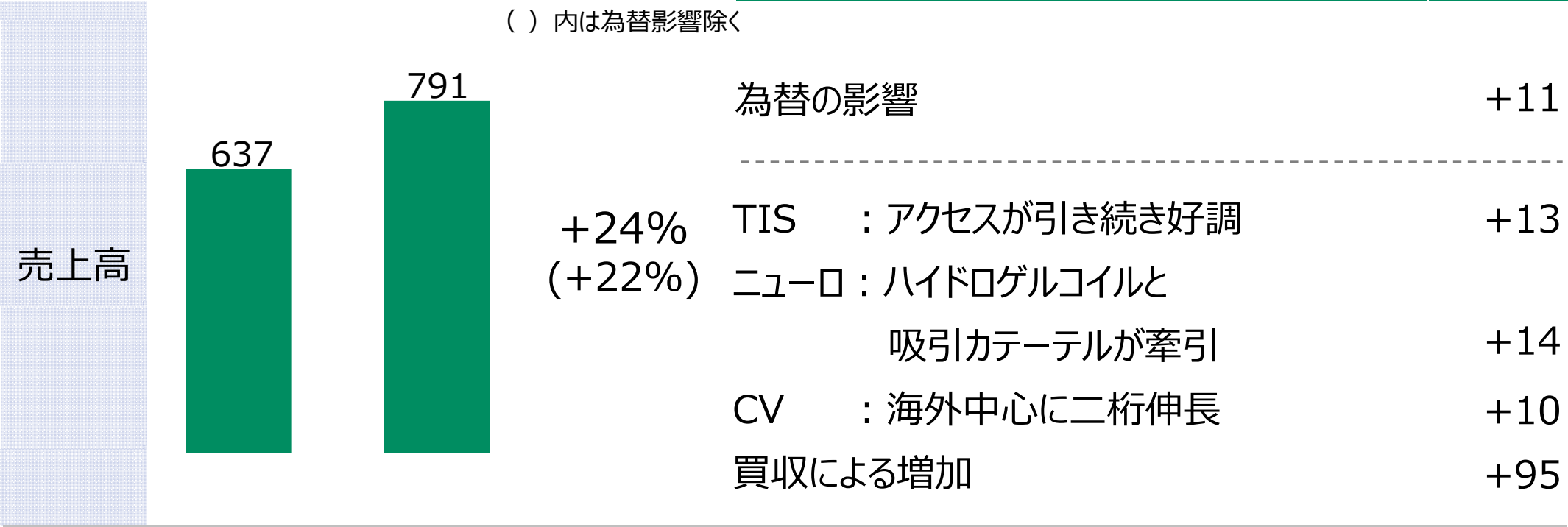
金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 17年度Q1: 791 16年度Q1: 637	+24% (+22%)	買収した製品は順調なスタート。既存事業も堅調に推移し、全事業で二桁伸長達成
ホスピタル 17年度Q1: 369 16年度Q1: 384	-4% (-4%)	医療器における代理店の在庫調整に加え、ポンプの買い控えも影響
血液システム 17年度Q1: 233 16年度Q1: 224	+4% (+3%)	米国新価格の影響は一巡。アジア・中南米の血液センター向け製品、および、アフェレシス治療が牽引

心臓血管：全事業で売上が二桁伸長。増収増益を達成

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

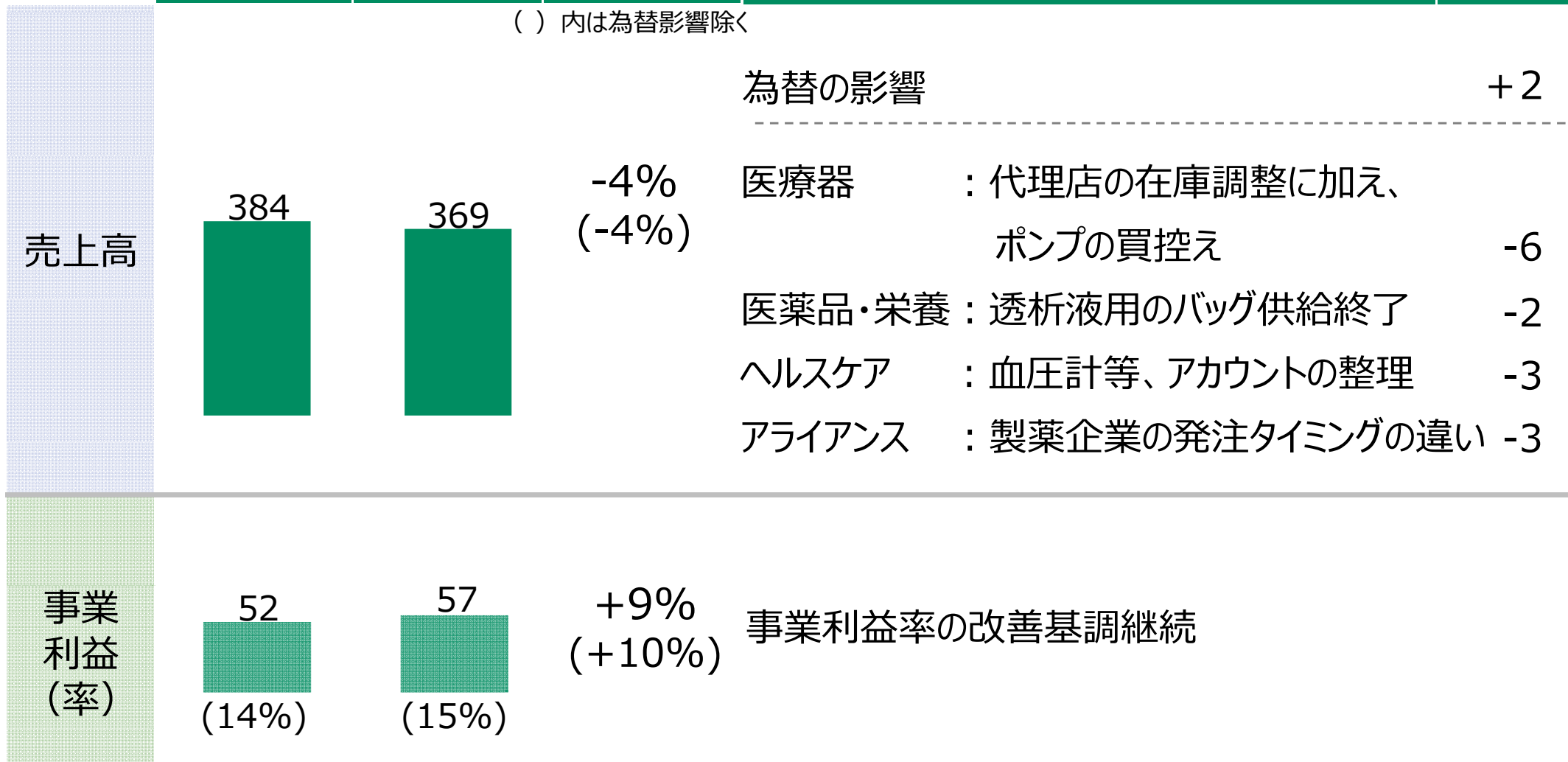


ホスピタル：収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

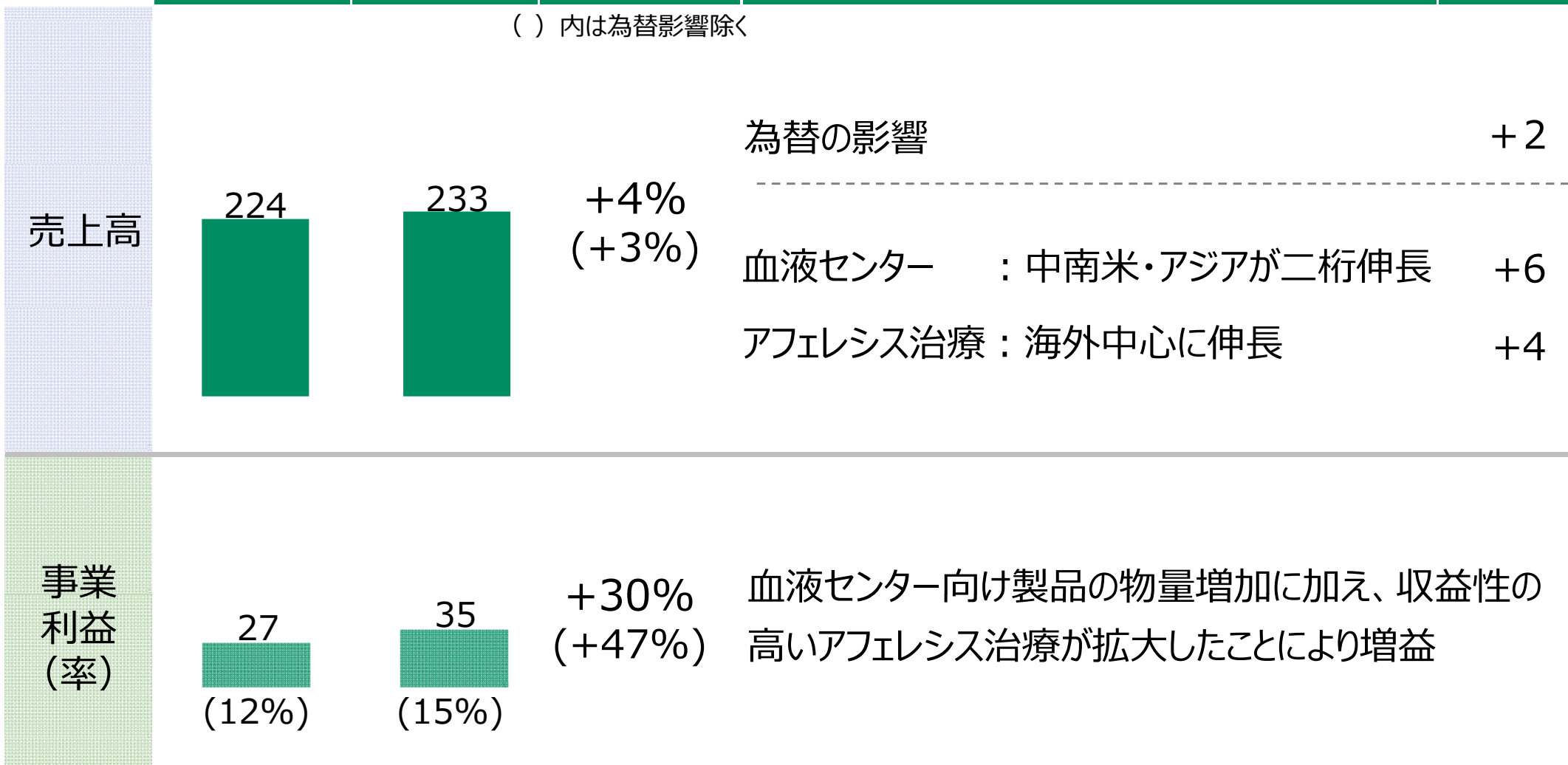


血液システム：成長基調へ回復。収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く



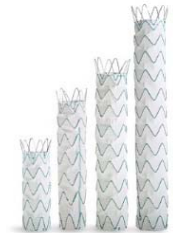
主なトピックス

全社

- 新経営体制スタート



- 胸部・腹部ステントグラフト、米Bolton Medical社の買収完了を発表（4月）



事業

- 愛鷹工場内に、「TIS Mastery Center」を開設、カテーテル開発の促進・強化（5月）



- 薬剤充填用注射器「PLAJEX」を容器とし受託製造をするバイオシミラー、欧州において承認申請（5月）

PLAJEX
Ready-to-Fill Polymer Syringe



17年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域
心臓	PTCAバルーン		米
	ステント(TRI)	★	日・米・欧
	PTAバルーン(TRI)	★	日・米・欧
ペリ フェラル	PTAガイディングシース(TRI)	★	日・米・欧
	薬剤塗布バルーン	◎ ★	欧
	塞栓コイル	◎	欧
	プロテクションデバイス		済み
脳	ハイドロゲルコイル3D		欧米：済み 日：Q2予定
	放射線塞栓ビーズ	★	欧

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

領域	製品		地域
CV	人工心肺装置(再出荷)	◎	済み
	次期・人工肺	◎	グローバル
医療器	縦型・輸液ポンプ		日
	抗がん剤暴露防止システム		済み
DM	パッチ型・インスリンポンプ	★	日
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア		グローバル



薬剤塗布バルーン
「Kanshas」 欧



人工心肺装置
再ローンチ グローバル



パッチ型
インスリンポンプ 日

参考資料

17年度Q1 事業別・地域別売上高と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	135 (+5%)	656 (+27%)	201 (+20%)	291 (+32%)	85 (+26%)	79 (+27%)	791 (+22%)
うちカテーテル※	103 (+4%)	533 (+28%)	161 (+17%)	226 (+38%)	79 (+24%)	67 (+30%)	635 (+23%)
ホスピタル	289 (-4%)	79 (-6%)	19 (-12%)	17 (-6%)	5 (+10%)	39 (-4%)	369 (-4%)
血液システム	24 (-3%)	209 (+4%)	58 (-3%)	103 (+4%)	12 (+11%)	35 (+14%)	233 (+3%)
合計	449 (-1%)	944 (+18%)	277 (+12%)	411 (+21%)	102 (+23%)	153 (+15%)	1,393(+11%)

※ニューロバスキュラー事業含む
() 内は為替影響除く前年比伸長率

販管費

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	179	203	+24	+13%	+12%
販促費	38	41	+3	+7%	+7%
物流費	28	30	+2	+7%	+7%
償却費	62	91	+29	+48%	+45%
その他	90	99	+9	+9%	+8%
一般管理費計	397 (31.9%)	464 (33.3%)	+67	+17%	+15%
研究開発費	81 (6.5%)	85 (6.1%)	+4	+5%	+4%
販管費合計	478 (38.4%)	549 (39.4%)	+71	+15%	+13%

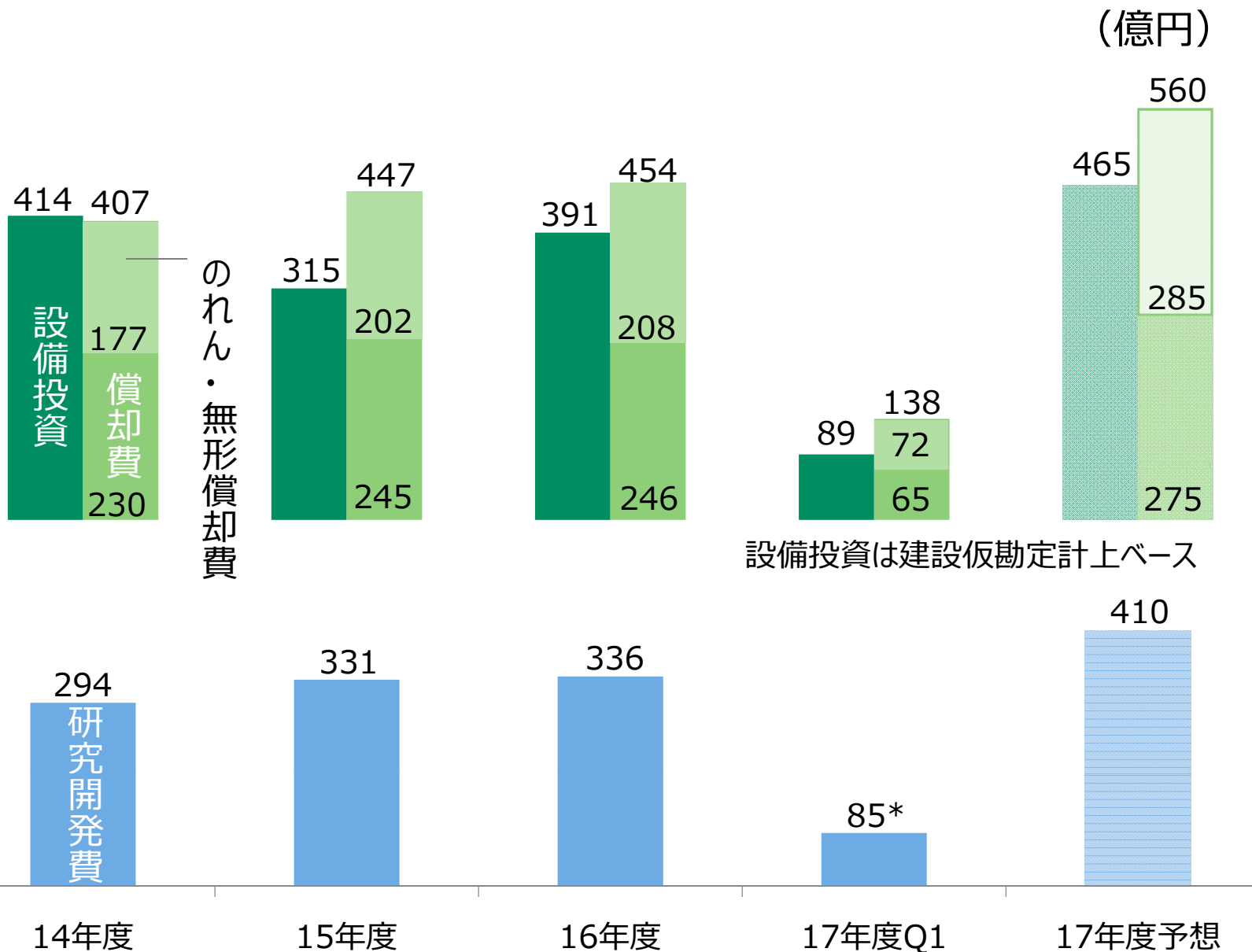
四半期の動き

(億円)

	16年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	17年度Q1 (4-6月)
売上高	1,245	1,206	1,293	1,398	1,393
粗利益	692 (55.6%)	658 (54.6%)	687 (53.2%)	743 (53.2%)	783 (56.2%)
販管費	397 (31.9%)	396 (32.9%)	410 (31.7%)	474 (34.0%)	464 (33.3%)
開発費	81 (6.5%)	82 (6.8%)	82 (6.4%)	92 (6.6%)	85 (6.1%)
営業利益	214 (17.2%)	180 (14.9%)	195 (15.1%)	177 (12.6%)	234 (16.8%)
のれん等償却 除く営業利益	259 (20.8%)	226 (18.8%)	245 (19.0%)	242 (17.4%)	306 (22.0%)

四半期	USD	108円	102円	109円	114円	111円
平均レート	EUR	122円	114円	118円	121円	122円

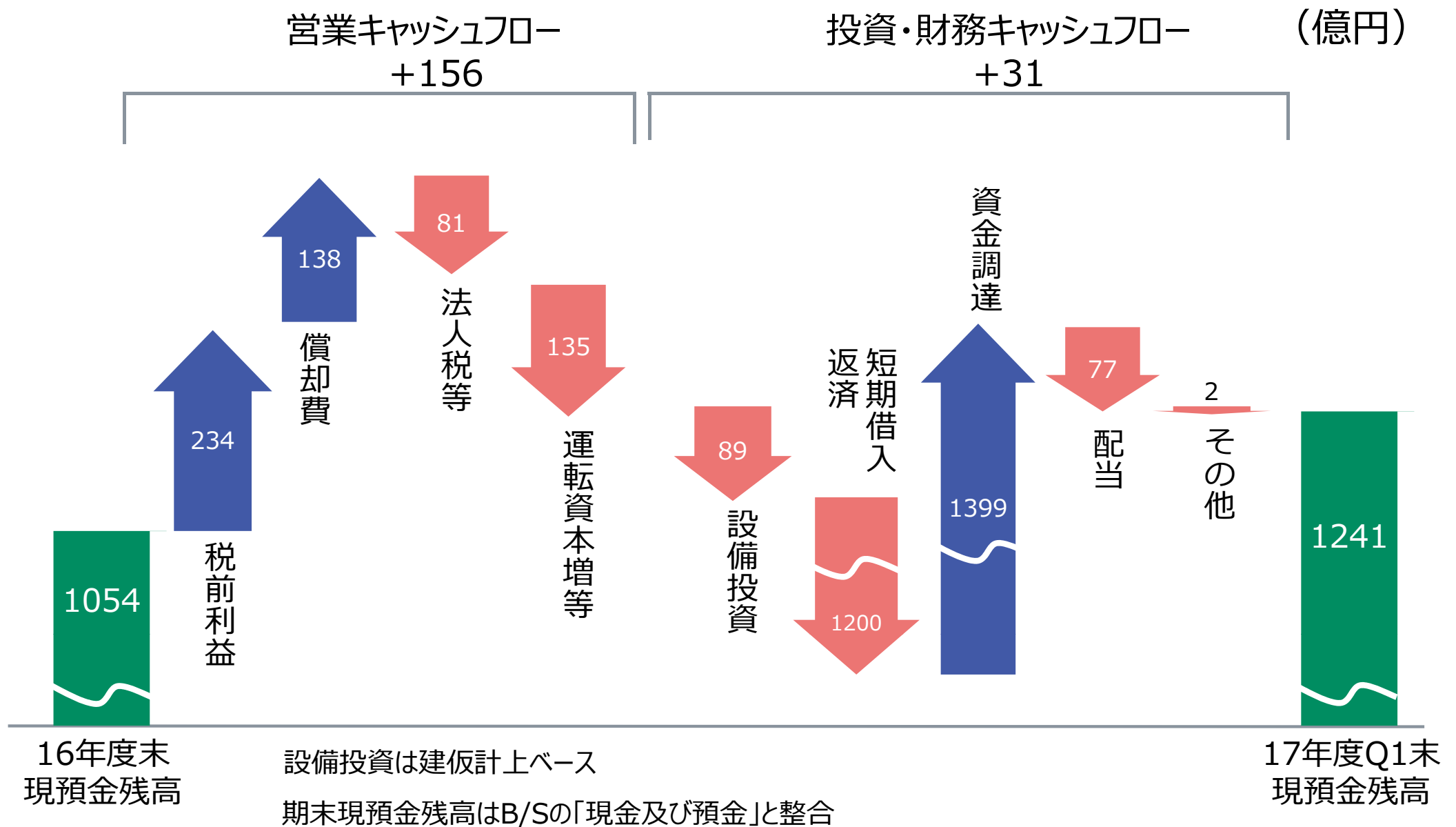
設備投資と研究開発費



- 17年度は、増産設備、生産スペース、IT投資を拡大
- のれん、無形償却費は、16年度に実施した買収案件により増加見込み
- 主に北米にてカテーテル・ニューロの開発活動を促進

*ベンチャー技術への投資は、研究開発費とは別に計上（7億円）

キャッシュフロー



17年度 為替感応度

(億円)

	USD		EUR	人民元
	のれん等償却 除く	のれん等償却 含む		
売上高	16	16	8	18
営業利益	0	-2	5	9

<参考> 10%変動時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
営業利益	-18	8	56	10	14	33

(参考) IFRSベース

- 2017年度 期末決算からIFRS（国際会計基準）を適用
- 開示スケジュール
2017年度第1～3四半期 : 日本基準
2017年度期末決算短信から : IFRS

(億円)	参考		影響
	日本基準 17年度Q1	IFRS 17年度Q1	
売上高	1,393	1,393	-
営業利益 (率)	234 (16.8%)	286 (20.5%)	+52
調整後営業利益 (率)	306 (22.0%)	317 (22.8%)	+11
純利益	163	206	+43

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。